

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2023年3月17日

事業所名 つばさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	規定は満たしていますが、やや手狭に感じることもあります。 今後も、施設全体をよりよく活用出来るように検討を重ねていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置数としては十分ですが、活動等によっては不足を感じる事もあります。 安全面に配慮しながら、有意義な活動が提供出来るように、配置を工夫していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	施設の作りで、改善の難しい箇所があると感じています。 個人の職員が負担に感じる事の無いように、連携を取り合って対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎日の終礼と、毎月の事業所会議での情報共有に力を入れています。 支援方法等の検討にも、多くの職員が参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年、アンケート調査を実施しています。 結果は事業所会議で共有し、より良い事業所にしていくよう活用しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	法人のホームページで公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	行なっておりません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	支援についての技術指導研修にも取り組んでいます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	職員間で共有した情報と、現場での様子、保護者様とのお話を踏まえて、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カード(アセスメントシート)を使用し、状況の把握に努めています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	現状は常勤職員で立案し、現場の非常勤職員さんと情報共有しながらプログラムを実施しています。 今後は、所属職員全体で検討する時間を持ち、行事などを盛り上げていきたいと考えています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	定番の活動と季節を意識した制作などを織り交ぜて、プログラムを実施しています。 体操や歌、レク等は、利用者様からの意見を反映させています。 年齢を意識した活動を全体で楽しむことが出来るように、工夫していきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	通常時と長期休暇で、開所時間を変更しています。 活動プログラムも、時間に合わせて変更しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個々の自立に関する目標と、集団参加に対する目標を意識して、放課後等デイサービス計画を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	勤務内容や役割(担当等)については事前にお伝えしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日、必ず終礼を行ない記録を残していません。記録を振り返る事で、当日出勤のなかった職員との情報共有に努めています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	当日のうちに個々の記録をとっています。適宜、記録から情報を拾い上げ、支援方法の検討等につなげています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援事業所実施のモニタリングに参加し、状況の確認や計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	折々で、ガイドラインを確認しながら支援を行なっています。今後は事業所会議等を活用し、全体で見直す時間を取っていきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	個別に担当職員が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校からご案内頂いた情報共有の機会(メール登録等も含み)には、積極的に参加しています。下校時の情報共有を円滑なものにするために、記録用紙の改善等を検討します。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	利用者様の、主治医の把握には努めています。状況によっては、定期通院に同行させて頂くような機会も取りたいと考えています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用者様の年齢的に就学前施設ではありませんが、前年度の利用施設や併用されている利用施設との情報交換には取り組んでいます。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	前項と同様で年齢的に障害福祉サービス事業等への移行はありませんが、次年度利用予定の施設との情報共有には努めています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	法人内の児童発達支援センターへの研修等に取り組んでいます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の方との交流(挨拶等)は行っています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	所属地域の協議会へ参加し、情報の共有・交換に努めています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者様のお迎えをお願いしていますので、担当職員がやり取りをさせていただいています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングを実施はしていませんが、経験豊かな職員が寄り添ってお話を聞かせていただいています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時にお伝えしています。要望に応じて、追加の説明をさせていただいています。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	子育ての悩みをご相談頂く機会はありません。 どんなお話しにも誠意をもって対応させていただいています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	以前は事業所に保護者様を招くイベントも企画しましたが、感染症と保護者様の負担を意識し、現在は実施しておりません。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	法人内では、迅速に対応させていただくための体制作りをしています。 事業所としては、児童が大人に挟まれる構図にならない配慮として、保護者様と職員とのやり取りを利用者様が見る事の無いよう、今後徹底していきたいと考えています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1回、活動予定や様子をまとめたお便りを発行しています。 そちらに、連絡先等記載しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人情報保護研修を実施する等して、意識と理解を高めています。 現場でも、情報の取り扱いには常に注意を払っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	構造化を意識してお伝えしています。 職員は常に個人の意志を汲み取るように丁寧に対応させていただいています。分からなかった事は職員間で共有・検討し次に繋げるようにしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	感染症の影響を考え、実施出来ていません。 公園での活動では、遊具の共有やボール蹴り等、地域の方々と関わりながら過ごすようにしています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルを策定し、事務所に掲示しています。 折々で、職員間での確認を行っています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、利用者様と一緒に避難訓練を実施しています。 夏季・冬季には災害を想定した通報・消火・避難訓練も実施しています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待防止研修に職員全体で取り組んでいます。 職員が迷いなく、正しい支援が出来るように、支援方法については常々検討と確認を繰り返しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束の研修を行い、個別支援計画にも記載しています。 今後は、正しい車イスの使用法等、研修の機会を持ちたいと考えています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者様からの情報で把握しています。 一覧にまとめ、事務所に掲示する事で、いつでも職員が確認出来るようにしています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	作成し、事業所会議で共有しています。